



## 2024年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年3月13日

上場会社名 アゼアス株式会社  
コード番号 3161 URL <http://www.azearth.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斉藤 文明  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部部長 (氏名) 五十嵐 克己  
四半期報告書提出予定日 2024年3月13日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3865-1311

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年4月期第3四半期の連結業績(2023年5月1日～2024年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第3四半期	6,110	10.2	233	37.7	245	37.6	157	43.6
2023年4月期第3四半期	6,803	1.5	374	50.7	393	54.8	278	70.0

(注) 包括利益 2024年4月期第3四半期 193百万円 (40.4%) 2023年4月期第3四半期 325百万円 (66.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第3四半期	27.68	
2023年4月期第3四半期	49.37	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第3四半期	8,589	6,687	77.9
2023年4月期	9,048	6,604	73.0

(参考) 自己資本 2024年4月期第3四半期 6,687百万円 2023年4月期 6,604百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年4月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期		0.00		22.00	22.00
2024年4月期(予想)				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年4月期の連結業績予想(2023年5月1日～2024年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,507	4.7	536	1.0	565	0.4	385	5.3	67.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
  - 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年4月期3Q	6,085,401 株	2023年4月期	6,085,401 株
期末自己株式数	2024年4月期3Q	395,647 株	2023年4月期	425,847 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年4月期3Q	5,675,893 株	2023年4月期3Q	5,645,355 株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2024年4月期3Q 132,500株、2023年4月期 162,700株)が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。(2024年4月期3Q 146,361株、2023年4月期3Q 176,899株)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(追加情報)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症まん延後のペントアップ需要の顕在化に加え、緩和的な金融環境や政府の経済対策の効果などにも支えられて、企業収益や業況感は改善しています。先行きのわが国経済を展望しても、賃金上昇率の高まりを背景とした雇用者所得改善による個人消費の下支え、デジタル化や人的資本経営の進展による生産性の上昇、設備投資の増加により、緩やかな成長が続くことが期待されています。一方で、海外の経済・物価情勢と国際金融資本市場の動向、資源・穀物価格を中心とした輸入物価の動向は大きなリスク要因となっており、世界的なインフレ率の高止まりや、経済への下押し圧力への大きな影響も懸念されています。

このような環境下、主力事業であります防護服・環境資機材事業は、業況感の改善に伴い、一般産業分野においては、需要が堅調である一方、家畜感染症を含めた感染症分野では、今期になって需要が比較的落ち着いていることもあり、売上高は6,110百万円（前年同四半期比10.2%減）、営業利益は233百万円（前年同四半期比37.7%減）、経常利益は245百万円（前年同四半期比37.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は157百万円（前年同四半期比43.6%減）となり、減収減益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

防護服・環境資機材事業におきましては、一般産業分野においては、需要が堅調である一方、家畜感染症を含めた感染症分野での需要が落ち着いているほか、足元では、安全環境設備分野や、新たな事業領域として取り組む高視認防護服や難燃防護服など、新事業における業容拡大がやや遅れて進捗していることも要因となって、売上高は3,286百万円（前年同四半期比14.5%減）、セグメント利益（営業利益）は371百万円（前年同四半期比36.7%減）となり、減収減益となりました。

ヘルスケア製品事業におきましては、主力製品であるアゼアスデザインセンター秋田で生産する日本製マスクについて、大口受注を獲得した一方で、個人消費者向けの販路では、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行と猛暑の影響を受けて、小売店が在庫の調整を進めたことから、当社においても一時的に生産量を調整したほか、資材調達の点においては、円安の進行等に伴う資材価格の高騰が主な要因となって、当第3四半期時点で黒字化するまでには至らず、売上高は114百万円（前年同四半期比11.7%減）、セグメント損失（営業損失）は31百万円（前年同四半期はセグメント損失72百万円）となり、減収で、セグメント損失の計上となりました。

ライフマテリアル事業のうち、機能性建材事業におきましては、利益率の高い新製品「ReFace」を中心とした営業活動へとビジネスモデルの転換が進んでおりますが、豊表など従来からの商品の販売が市況の悪化により低迷しました。一方で、アパレル資材事業は、収益の安定した作業服・ワーキング分野、学生服・スクールウェア分野の販売が概ね堅調に推移いたしました。その結果、売上高は2,381百万円（前年同四半期比3.5%減）、セグメント利益（営業利益）は144百万円（前年同四半期比10.6%減）となり、減収減益となりました。

なお、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用は242百万円であります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.0%減少し6,571百万円となりました。これは、主として現金及び預金が555百万円減少、売上債権が253百万円減少し、棚卸資産が375百万円増加したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.0%減少し2,018百万円となりました。これは、主として減価償却や倉庫として使用していた岡山県倉敷市の土地建物売却等で有形固定資産が76百万円減少し、保有株式の株価上昇で投資有価証券が19百万円増加したためであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて459百万円減少し8,589百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて22.4%減少し1,625百万円となりました。これは、主として仕入債務が222百万円減少、未払法人税等が108百万円減少、未払消費税が79百万円減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて21.1%減少し275百万円となりました。これは、主として長期借入金返済により83百万円減少したためであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて542百万円減少し1,901百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.3%増加し6,687百万円となりました。これは、主として利益剰余金の増加額29百万円と役員株式給付による自己株式の減少額17百万円により株主資本が46百万円増加、その他の包括利益累計額が36百万円増加したためであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,153,209	2,597,252
受取手形及び売掛金	1,806,201	1,449,100
電子記録債権	570,316	673,762
商品及び製品	1,190,655	1,525,672
原材料	176,643	212,958
仕掛品	9,951	14,487
その他	104,408	122,381
貸倒引当金	△21,160	△24,586
流動資産合計	6,990,225	6,571,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	801,871	782,586
機械装置及び運搬具（純額）	103,745	87,806
土地	680,919	647,389
その他（純額）	37,194	29,121
有形固定資産合計	1,623,730	1,546,903
無形固定資産	90,317	102,997
投資その他の資産		
投資有価証券	140,844	160,334
その他	213,415	217,185
貸倒引当金	△9,861	△9,233
投資その他の資産合計	344,398	368,286
固定資産合計	2,058,446	2,018,187
資産合計	9,048,672	8,589,216
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	823,863	727,516
電子記録債務	718,947	592,385
賞与引当金	58,500	30,600
未払法人税等	122,165	14,000
1年内返済予定の長期借入金	111,984	111,984
その他	259,474	149,493
流動負債合計	2,094,935	1,625,979
固定負債		
長期借入金	207,368	123,380
役員退職慰労引当金	16,240	9,930
役員株式給付引当金	39,107	25,616
退職給付に係る負債	86,584	93,197
その他	-	23,335
固定負債合計	349,300	275,460
負債合計	2,444,235	1,901,440

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	887,645	887,645
資本剰余金	1,100,341	1,100,341
利益剰余金	4,736,576	4,765,606
自己株式	△245,689	△228,123
株主資本合計	6,478,873	6,525,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,997	26,849
為替換算調整勘定	112,565	135,458
その他の包括利益累計額合計	125,563	162,307
純資産合計	6,604,436	6,687,776
負債純資産合計	9,048,672	8,589,216

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2023年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年5月1日 至2024年1月31日)
売上高	6,803,096	6,110,855
売上原価	5,353,978	4,842,783
売上総利益	1,449,117	1,268,072
販売費及び一般管理費	1,074,659	1,034,679
営業利益	374,457	233,393
営業外収益		
受取利息	293	209
受取配当金	4,208	4,784
為替差益	4,136	-
業務受託料	7,650	5,966
保険解約返戻金	1,392	2,245
その他	7,672	2,424
営業外収益合計	25,354	15,629
営業外費用		
支払利息	787	518
持分法による投資損失	5,066	2,063
為替差損	-	768
その他	42	59
営業外費用合計	5,897	3,409
経常利益	393,914	245,612
特別利益		
固定資産売却益	-	564
受取保険金	69,131	-
特別利益合計	69,131	564
特別損失		
固定資産売却損	-	25
減損損失	21	5
固定資産除却損	0	269
役員退職慰労金	74,107	-
特別損失合計	74,128	300
税金等調整前四半期純利益	388,917	245,876
法人税、住民税及び事業税	96,783	62,552
法人税等調整額	13,391	26,204
法人税等合計	110,174	88,756
四半期純利益	278,742	157,119
親会社株主に帰属する四半期純利益	278,742	157,119

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)
四半期純利益	278,742	157,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,967	13,851
為替換算調整勘定	42,295	22,892
その他の包括利益合計	46,262	36,743
四半期包括利益	325,005	193,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325,005	193,863

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

## 取締役等に対する株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」

当社は、当社取締役及び監査役(社外取締役及び社外監査役を含みます。以下「取締役等①」といいます。)の報酬と株式価値との連動性をより明確にし、取締役(社外取締役を除きます。)が中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めること並びに、社外取締役及び監査役が、社外取締役にあっては監督、監査役にあっては監査を通じた中長期的な企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的とした取締役等①に対する株式報酬制度「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」(以下、「本制度①」といいます。)を導入しております。また、本制度①と併せて、取締役(社外取締役を除きます。)及び執行役員(以下「取締役等②」といいます。)の報酬と中期経営計画との連動性をより明確にし、取締役等②が中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的とした取締役等②に対する株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」(以下、「本制度②」といいます。)を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じております。

## (1) 本制度の概要

本制度①は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」といいます。)を通じて取得され、取締役等①に対して、当社取締役会が定める役員株式給付規程①(ただし、役員株式給付規程①のうち、監査役に関する部分については、その制定及び改廃につき、監査役の協議に基づく同意を得るものとしたします。)に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭(以下、「当社株式等」といいます。)が本信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役等①が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等①の退任時となります。

本制度②は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が本信託を通じて取得され、取締役等②に対して、当社取締役会が定める役員株式給付規程②に従って、当社株式が本信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役等②が当社株式の給付を受ける時期は、原則として在任中一定の時期となります。

## (2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。本制度①及び本制度②についての当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度94,635千円、162,700株、当第3四半期連結会計期間77,069千円、132,500株であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	防護服・ 環境資機材	ヘルスケア 製品	ライフ マテリアル	計				
売上高								
顧客との契約か ら生じる収益	3,841,689	129,482	2,469,454	6,440,626	362,469	6,803,096	—	6,803,096
外部顧客への 売上高	3,841,689	129,482	2,469,454	6,440,626	362,469	6,803,096	—	6,803,096
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,131	220	6,636	8,987	19,377	28,365	△28,365	—
計	3,843,820	129,702	2,476,090	6,449,613	381,847	6,831,461	△28,365	6,803,096
セグメント利益 又は損失(△)	587,653	△72,556	161,877	676,974	△11,358	665,615	△291,157	374,457

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額463千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△291,621千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	防護服・ 環境資機材	ヘルスケア 製品	ライフ マテリアル	計				
売上高								
顧客との契約か ら生じる収益	3,286,406	114,323	2,381,959	5,782,690	328,165	6,110,855	—	6,110,855
外部顧客への 売上高	3,286,406	114,323	2,381,959	5,782,690	328,165	6,110,855	—	6,110,855
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,712	587	6,390	14,689	11,054	25,744	△25,744	—
計	3,294,118	114,911	2,388,349	5,797,379	339,220	6,136,600	△25,744	6,110,855
セグメント利益 又は損失(△)	371,797	△31,889	144,756	484,665	△8,652	476,012	△242,619	233,393

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△185千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△242,433千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。